

経営改善及び連携・活用に関する取組評価 (令和2(2020)年度)

法人名(団体名) 川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
--------------------------	------------	--------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

本市施策における法人の役割

生鮮食料品等を大量に取引する北部市場においては、取り扱い物品の円滑な流通を図るために冷蔵・冷凍保管機能が必要不可欠であり、冷蔵・冷凍設備は、北部市場に欠かすことのできない附属設備です。しかし、これらの業務や施設の運営は専門性が高いことから、専門性を有した外部主体の活用が効果的です。当該法人が柔軟かつ効率的な業務運営を行うとともに、公共性を保持しつつ企業の創意と工夫を行うことにより、市民への安定的かつ効率的な生鮮食料品等の供給を実現するための一翼を担います。

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		活力と魅力あふれる力強い都市づくり	魅力と活力のある商業地域の形成
	分野別計画	川崎市卸売市場経営プラン	

4カ年計画の目標

- ・市民に安定的かつ効率的に生鮮食料品等を供給する卸売市場の機能は、今後とも大変重要で必要な機能です。当該法人が、効率的で安定的な経営を確保しながら、場内事業者等に対して冷蔵・冷凍保管機能等のサービス提供や凍氷の製造販売を行うことは、その機能の実現に大きく寄与するものであることから、今後とも連携・活用を図っていきます。
- ・場内事業者の利用ニーズを踏まえ、稼働率向上に向け場内・場外事業者への効果的な営業展開等に努め、売上の確保を図るとともに、計画的な修繕や動力費の抑制等により経費の削減を、引き続き行っていきます。
- ・当該法人が建設した3号棟冷蔵庫にかかる長期借入金を、経営改善計画に基づき返済を進め、債務超過を解消するとともに、今後も安定的な経営を図り、市民への安定的かつ効率的な生鮮食料品等の供給を実現するための一翼となることを期待します。

2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	冷蔵・冷凍保管業務事業	一般保管取扱量(入庫量)	t	18,786	18,786	17,593	c	C	II
		容積建稼働率(容積ベース)	%	95	93	96	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	△ 84,659	△ 67,447	△ 66,458			
②	氷の製造及び販売業務事業	凍氷販売量	t	1,027	1,025	592	d	D	II
		事業別の行政サービスコスト	千円	△ 4,465	△ 2,100	4,337			

3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度	本市による 評価 -達成状況	今後の取組の 方向性
①	経常利益の確保	経常利益	千円	57,651	52,000	37,162	c	C	II

4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度	本市による 評価 -達成状況	今後の取組の 方向性
①	「経営モニタリング委員会」の開催	「経営モニタリング委員会」の開催回数	回	2	2	2	a	A	I
②	コンプライアンスの遵守	倉庫業に必要なコンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a	A	I

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【 I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

【令和元(2019)年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

新型コロナウイルス感染症の影響等により、水産物部は厳しい状況が続いており、市場取扱量の減少等が同社の経営に大きな影響を及ぼしている状況もありますが、令和元年度の市の総括に基づき、引き続き、場内での冷蔵庫利用を踏まえながら、関連事業者の新規顧客を開拓したほか、積極的な場外事業者への営業展開に努める等、課題となる売上確保に重点的に取組みました。また、修繕積立金の積立や施設保全に必要な修繕を着実に実施するなど、長期的視点に立ち、会社の安定的な経営の確保に向けて取組みました。

【令和2(2020)年度取組評価における総括コメント】

新型コロナウイルス感染症の影響等による水産物部の市場取扱量やイベントの減少等の影響で、氷の製造及び販売業務事業等が一部目標未達となりましたが、こうした厳しい状況下においても、新規顧客の獲得や経費の削減に努めつつ、「経営改善基本計画書」に基づき計画的に長期借入金の返済等を進めています。引き続き、売上高の維持・拡大及び経費の抑制に努め、長期借入金の返済原資となる経常利益を確保するとともに、持続可能な会社運営の視点に立った経営を期待します。また、今後も新型コロナウイルス感染症の影響が不透明な中で、さらなる市場取扱量の減少などが引き続きリスクとなる中、売上高の確保は大きな課題であり、より積極的な営業展開に努め、冷蔵庫の稼働率・利用率の向上に努めることを期待します。

法人名(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和2(2020)年度)

事業名	冷蔵・冷凍保管業務事業
計 画 (Plan)	
指標	①一般保管取扱量(在庫量)、②容積建稼働率(容積ベース)
現状	市場経由率の低下や市場間競争の激化など、卸売市場を取り巻く環境は依然厳しい状況であり、北部市場水産物部の取扱量も減少が続いています。そのため、場内事業者の需要も減少傾向ですが、場内利用を踏まえた場外事業者への営業強化等により売上を確保している状況です。
行動計画	卸売市場として冷蔵・冷凍保管機能を担う重要な事業となるため、引き続き、青果部や花き部を含めた北部市場全体の需要の掘り起こしに努めるとともに、場内事業者による利用を踏まえた場外事業者への売上拡大の取組を進める等により、一般保管取扱量及び容積建稼働率の確保・増加に努め、事業を推進します。
具体的な取組内容	一般保管取扱量及び容積建稼働率の維持・増加を図るため、引き続き、青果部や花き部を含めた北部市場全体の需要の掘り起こしに努めるとともに、場内事業者による利用を踏まえた場外事業者への売上拡大の取組を進めていきます。特に、新型コロナウイルス感染症の影響から、水産物部の取扱量が大きく減少することが継続的に想定されることから、より積極的な営業活動等に努めながら稼働率の維持・向上を図ります。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 一般保管については、場内事業者等の顧客からの紹介等により営業活動に努めましたが、水産物の市場取扱量の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、一般保管取扱量の在庫量は17,593t(前年比99.1%)となり、その結果一般保管売上高は、156,290千円(前年比95.1%、7,988千円減)となりました。</p> <p>【指標2関連】 容積建保管については、新規顧客の確保に向けた営業活動により、年間を通して安定的に稼働率を維持し、容積建稼働率は96%(前年比2%増)となり、その結果容積建売上額も210,925千円(前年比101.9%、3,931千円増)となりました。</p>
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	一般保管取扱量(在庫量)	目標値	18,786	18,786	18,786	18,786	18,786	t
	説明 一般保管取扱量の確保・増加に努め、事業を推進します。 ※個別設定値:17,847(現状値の95%)	実績値		18,786	17,970	17,748	17,593	
2	容積建稼働率(容積ベース)	目標値	95	93	93	93	93	%
	説明 容積建稼働率の維持・向上に努め、事業を推進します。	実績値		95	93	94	96	
指標1 に対する達成度		C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

令和2年度の一般保管在庫量については、新型コロナウイルス感染症の影響による飲食店事業者の需要が落ち込みなどがあり、前年度と比較しても減少しましたが、容積建稼働率については、市場内顧客の掘り起こしとして、関連事業者の新規顧客を開拓するなどにより目標値を大きく上回りました。

本市
による評価

区分	区分選択の理由
達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C 新型コロナウイルス感染症の影響等による水産物部の市場取扱量の減少など厳しい経営環境の中、指標1の一般保管取扱量(在庫量)は目標を下回りましたが、指標2の容積建稼働率(容積ベース)は、市場内顧客の新規掘り起こしに努め、関連事業者の新規顧客を獲得するなどし、目標を達成したため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	△ 84,659	△ 63,447	△ 65,447	△ 67,447	△ 69,447	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		△ 61,411	△ 58,873	△ 66,458		
行政サービスコストに対する達成度		1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上						

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

本市
による評価

区分	区分選択の理由
費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価) (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	II	Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止

法人名(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和2(2020)年度)

事業名	氷の製造及び販売業務事業
計 画 (Plan)	
指標	凍水販売量
現状	市場経由率の低下や市場間競争の激化など、卸売市場を取り巻く環境は依然厳しい状況であり、北部市場全体の取扱量も減少が続いています。それら荷の減少、さらには利便性から自前の製氷装置で氷を作る業者が増えてきており、場内事業者への売上は減少傾向にあります。そのため、場外事業者等に対するPRや営業強化等により売上を確保している状況です。
行動計画	北部市場水産物部の取扱量が減少が続ける中であっても、今後も卸売市場の冷蔵・冷凍保管機能を担う重要な事業です。場内事業者への売上は減少傾向にあるものの、需要の掘り起こしに努めるとともに、場外事業者に対するPRや営業強化等より、引き続き、事業を推進していきます。
具体的な取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響から水産物部の取扱が大きく減少することに加え、多くのイベントが中止となり、当該事業は大変な苦戦が想定されますが、順調に伸びている場外の冷蔵庫利用者に対して凍氷の利用もPRする等、営業方法を見直し事業者向けの利用を促進させ、売上拡大を図るとともに、ホームページやチラシ等でのPR方法を強化することにより、一般客の利用促進にも取組みます。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 凍氷の売上が減少傾向にある中、繁忙期間や時間帯の効率的な販売体制を維持し、経費の削減にも取り組みながら凍氷の販売を行いました。また、場内事業者への需要の掘り起こしや場外事業者への販路拡大のためのホームページ等によるPR活動に取り組みました。
----------------	---

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	凍水販売量	目標値	1,027	1,025	1,025	1,025	1,025	t
	説明 凍水販売量の維持・向上に努め、事業を推進します。 ※個別設定値:976(現状値の95%)	実績値		944	808	592		
指標1 に対する達成度		d	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

近年は、自らの店舗内に製氷機を置いている事業者が増加しているため、凍水の販売量が年々減少しています。これに加え、新型コロナウイルス感染症の影響等による水産物部の市場取扱量の減少やイベントの減少等も加わり、市場の買出人へのチラシの配布や近隣へのポスティングの実施など新規顧客の獲得に努めましたが、前年比73%と氷の販売量は大きく減少しました。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	D

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	△ 4,465	△ 2,100	△ 2,100	△ 2,100	△ 2,100	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		△ 2,121	266	4,337		
行政サービスコストに対する達成度			1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

場内事業者による自らの店舗内への製氷機の設置のほか、水産物部の市場取扱量の減少により年々取扱量が減少する中、さらに新型コロナウイルス感染症の影響等により今年度は売上高が前年比69.9%と大きく減少した結果、事業単体では赤字をとったことによるもので、「氷の製造及び販売業務事業」の採算性は、従前からの課題の1つとなっています。
一方で、行政サービスコストを要するようになったわけではなく、現状、「冷蔵・冷凍保管業務事業」から補填が十分できている状況もあり、引き続き生鮮食品の安心・安全を確保する公的な役割を果たしながら、事業単体でも採算が図れるよう取り組んでいきます。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	II	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止

法人名(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

3. 経営健全化に向けた取組①(令和2(2020)年度)	
項目名	経常利益の確保
計画(Plan)	
指標	経常利益
現状	市場全体の取扱量が減少する中、場外事業者を含めた販路の拡大や稼働率の向上、経費の抑制等に努め、長期借入金の返済原資となる経常利益を確保しています。
行動計画	引き続き、売上高の維持・拡大及び経費の抑制に努め、長期借入金の返済原資となる経常利益を確保するとともに、持続可能な長期的会社運営の視点に立ち、経営を行っています。
具体的な取組内容	新型コロナウイルス感染症に伴う市場取扱量の減少など、先行きの見えない、厳しい経営環境が継続することが想定されますが、引き続き、売上高の維持・拡大及び経費の抑制に努めます。特に、新型コロナウイルス感染症の影響から、場内での冷蔵庫利用の減少が継続的に想定されることから、場外事業者の利用により補完ができるよう積極的な営業活動等に努めながら稼働率の維持・向上を図ります。

実施結果(Do)	
経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 収入面においては、新規顧客の開拓を進め、年間の安定した収入となる容積建保管契約者を増やしたほか、支出面においては動力費の節電努力等による抑制など、経費の節減にも引き続き取り組みました。</p> <p>【その他】 特別修繕引当金の積み増(25,000千円)や3号冷蔵庫自動倉庫制御更新工事(13,040千円)を行うなど、長期的な視点に立ち、会社の安定的な経営環境を確保するための準備・対応を行いました。</p>

評価(Check)							
経営健全化に関する指標	目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1 経常利益	目標値		48,000	50,000	52,000	54,000	千円
	説明 経営健全化に向け、長期借入金返済の原資を確保し、債務超過を解消します。	実績値	57,651	37,530	33,010	37,162	
指標1に対する達成度	C	<p>a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満</p> <p>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載</p>					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)							
<p>売上は、容積建保管において前年を超える96%と高い稼働率を確保しましたが、市場取扱量の減少や新型コロナウイルス感染症の影響により全体としては前年比97.6%と減少し、また、経費面においても、動力費が前年度に比べ抑制したもののなお高い水準にあり、さらに施設保全に必要な修繕を着実に実施するなどにより、昨年度の実績を上回ったものの、経常利益は目標値に至りませんでした。</p>							

	達成状況	区分	区分選択の理由
		<p>A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った</p>	<p>C</p> <p>容積建保管において、前年を超える稼働率を確保したものの、新型コロナウイルス感染症の影響等による市場取扱量の減少等により、目標未達となりましたが、経常利益について昨年度実績を4,621千円(前年比114%)上回ることができたほか、長期的な視点に立った計画的な修繕として、冷蔵庫の自動倉庫制御更新工事(13,040千円)や特別修繕引当金の積立(25,000千円)など、会社の安定的な運営に向けた取り組みを進めているため。</p>

改善(Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	II	今後も新型コロナウイルス感染症の影響等により厳しい経営環境が継続することが想定されますが、より一層北部市場内において需要の掘り起こしに努めるほか、場内事業者による利用状況を踏まえて、場外事業者への売上の拡大に向けた取組を進めていき、売上高の維持・拡大に努めるとともに、経費の抑制及び安定期な運営に努めていきます。

法人名(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

4. 業務・組織に関する取組①(令和2(2020)年度)

項目名	「経営モニタリング委員会」の開催
計画 (Plan)	
指標	「経営モニタリング委員会」の開催回数
現状	当該法人が策定した「経営改善基本計画書」の進捗管理や本計画に基づく取組の検証などを行うため、市や関係金融機関等により組織する「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」を設置し、本委員会を年2回程度、開催しています。
行動計画	引き続き、「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」を実施し、「経営改善基本計画書」の進捗管理や本計画に基づく取組の検証などを行っていきます。
具体的な取組内容	委員会のメンバーである市や関係金融機関、中小企業診断士の専門家などにより、事業計画や収支状況、決算見込み等について、確認・点検を行うことで、引き続き「経営改善基本計画書」に基づく取組の進捗管理を行っていきます。新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、開催時期や場所、開催方法等について、柔軟に対応していきます。

実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 計画のとおり、委員会のメンバーである市や関係金融機関、中小企業診断士などにより、「川崎冷蔵株式会社経営モニタリング委員会」を年2回開催しました。会議では、事業計画や収支状況、決算見込等について点検・確認を行い、「経営改善基本計画書」に基づく取組の進捗管理を行いました。
---------------	---

評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	「経営モニタリング委員会」の開催回数	目標値	2	2	2	2	2	回
	説明 本委員会の開催を通じて、計画の進捗管理や取組の検証等を行います。	実績値		2	2	2	2	
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
計画通り年2回の「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」を10月と3月に実施し、経営状況の確認等のほか、委員から貴重な意見を頂きました。								

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 計画通り年2回の「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」を実施し、経営状況の確認等を行うとともに、委員からの意見を受け止め、効率的、安定的な経営に生かせるよう努めているため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I 今後も継続して、「川崎冷蔵株式会社経営モニタリング委員会」を年2回開催することとし、「経営改善計画書」の進捗状況等を確認していきます。

法人名(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

業務・組織に関する取組②(令和2(2020)年度)	
項目名	コンプライアンスの遵守
計画(Plan)	
指標	倉庫業に必要なコンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	倉庫業法や電気事業法、高圧ガス保管法、フロン排出抑制法等、倉庫業に必要な法令等を遵守した経営を行っています。
行動計画	引き続き、倉庫業経営に関わる法令等を遵守した、コンプライアンスに重点を置いた経営を推進していきます。
具体的な取組内容	各法令等に基づき、管理責任者等の選任や、設備の点検・記録、各種申請・届出・報告など、適切に実施していきます。

実施結果(Do)	
指標1関連	【指標1関連】 各法令等に基づき、管理責任者等の選任や設備の点検・記録、各種申請・届出・報告など、適切に実施しました。

評価(Check)								
業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	倉庫業に必要なコンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値		0	0	0	0	件
	説明 コンプライアンスに重点を置いた経営を推進していきます。	実績値	0	0	0	0		
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
コンプライアンスに重点を置いた経営を推進することにより発生件数はゼロでした。								

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 各法令等に基づき、管理責任者等の選任や設備の点検・記録、各種申請・届出・報告を適切に実施しており、コンプライアンスに反する事案は発生していないため。

改善(Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
損益計算書	営業収益	377,538	388,704	379,402	
	営業費用	340,108	354,676	342,258	
	営業損益	37,430	34,028	37,144	
	経常損益	37,530	33,010	37,163	
	当期損益	29,601	23,523	21,741	
貸借対照表	総資産	488,409	471,293	460,511	
	流動資産	337,837	314,767	317,346	
	固定資産	150,571	156,526	143,165	
	総負債	509,936	469,298	436,775	
	流動負債	140,302	120,145	103,440	
	固定負債	369,634	349,154	333,335	
	純資産	△21,527	1,995	23,736	
資本金	50,000	50,000	50,000		
剰余金等	△71,527	△48,005	△26,264		

エラーチェック

OK

OK

OK

OK

本市の財政支出等(単位:千円)

	平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
補助金				
委託料				
指定管理料				
貸付金(年度末残高)				
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)				
出資金(年度末状況)	40,000	40,000	40,000	
(市出資率)	80.0%	80.0%	80.0%	

財務に関する指標

	平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
流動比率(流動資産/流動負債)	240.8%	262.0%	306.8%	
純資産比率(純資産/総資産)	-4.4%	0.4%	5.2%	
純資産利益率(当期損益/純資産)	-137.5%	1179.0%	91.6%	
総資産回転率(営業収益/総資産)	77.3%	82.5%	82.4%	
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/営業収益				

法人コメント

本市コメント

現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
<p>新型コロナウイルスの影響等による場内取扱量の減少や支出の多くを占める電気コストが高水準にあること、施設の老朽化により、依然として厳しい経営環境にあります。しかしながら、安定した収入となる容積建保管の売上が増加するとともに、経費節減に取り組むことで前年度以上の経常利益を確保することができました。</p>	<p>場内取扱量が減少傾向にあるなど、依然として厳しい経営環境にある中、場内利用を踏まえながら場外事業者の拡大に積極的に取り組むことにより、売上を維持しつつ、人件費の節減等により支出を最小限に抑制することで、当期純利益を確保します。また、それにより、借入金の返済を確実に進めながら、老朽化している3号棟冷蔵庫の施設機能保全にも努めていきます。</p>	<p>継続した経営努力の結果、単年度収支は黒字を維持しており、昨年度には債務超過の解消が達成されるなど、経営改善が順調に進んでおります。新型コロナウイルス感染症の影響等による市場取扱量の減少など、不透明な厳しい経営環境が継続することが想定されますが、今後も引き続き売上の拡大、経費の削減等に取組み、収益性の維持・改善を図ることにより、借入金の返済を確実に進め、安全性の高い経営の取組を推進することを期待します。 なお、本市の財政支出はなく、市への収入依存度は低い状況ですが、公共性の観点から使用料の減免(24,319千円/年)を行っています。</p>

(2)役員・職員の状況(令和3年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	2	0	1	5	1	0
職員	15	0	0	0	0	0

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解
・理由

・今後の方向性